



国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2011-2012 ガバナー月信

# Governor's Monthly Letter

vol. **3**  
2011.9.1



長谷寺絵馬「川中島合戦の図(明治39年)」

## C O N T E N T S

- 2 ガバナーメッセージ  
「新世代奉仕活動月間に寄せて」
- 3 インターアクト地区大会を終えて
- 4・5 ガバナー公式訪問だより
- 6～12 地区協議会プログラム  
事務局職員研修記
- 13 第1回諮問委員会報告  
2011-2012年度 RI 第2690地区 地区資金予算
- 14・15 地区だより(7月)
- 16 出席報告(7月)



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度  
国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)  
2011-2012年度 ガバナー 伊藤文利

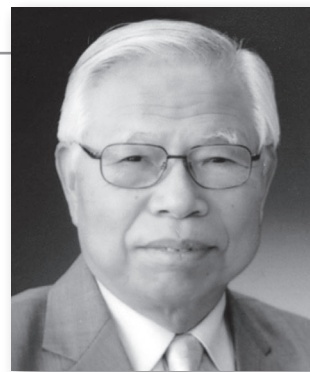


## ガバナーメッセージ

# 新世代奉仕活動月間に寄せて

国際ロータリー第2690地区ガバナー

伊藤 文利



今、国際ロータリー第2690地区第35回インターアクト地区大会の会場内、地区内18インターアクトクラブ(以下:IAC)の高校生達が発する元気はつらつたる熱気の中にいます。彼等の活動報告を傾聴しているとIACの素晴らしさ、その彼等に物心両面の支援を続けている、提唱ロータリークラブの皆さんのご努力に感動しながら、今後の活動に熱いエールを送らせて頂きました。

国際ロータリー(以下RI)は昨年7月より「新世代奉仕部門」を5大奉仕部門の一つと決めました。しかし、ロータリー創立以来、ロータリーは名前を変え、形を変え青少年奉仕活動に多大なエネルギーを傾注し続けて来たのは事実であります。そして次代を担う青少年の健全育成と併せて、次世代のリーダーを育てる事こそロータリーの最大目標の一つであると主張し続けています。

新世代奉仕の活動と言っても多数のプログラムがあります。例えば、RIが推奨する前述のインターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(以下:RYLA)などが古くから存在します。一方、各クラブも独自で新世代奉仕活動に関する多種多様なメニューを取り上げ、熱心に取り組んでおられる様子を、公式訪問を通して多数伺うことが出来、大変心強く感じた次第であります。

新世代奉仕活動と少し性質は異なりますが、ロータリー青少年交換(Rotary Youth Exchange)は15~25歳の青少年に、母(以外の国を訪問・留学する機会を提供する、古くからあるRI常設プログラムとして知られています。近年、当地区ではこのプログラムを利用する高校生は減少の一途をたどっていますが、その理由の一つに外国に行かなくてもそこそこの語学研修ができること、外国人との接触などが可能となり、更に子ども自身にチャレンジ精神が希薄になったこと等の点が考えられます。ロータリーとして、我々はこの制度の広報に努め、現

在は毎年2~3名でしかない応募状況ですが、毎年5名以上の応募者が出現するよう、ぜひ皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

今年の地区新世代奉仕委員会はRYLAの規模を少し大きくして開催したいと思っています。詳細は未だ発表段階ではありませんが、鳥取県三朝町の国宝投入堂で有名な三徳山を舞台にして、研修・登山・温泉を通じて、心身ともにフレッシュになり、生まれ変わった自分を見つける機会になればと期待しています。多くの若者が参加してくれるよう皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

私の地区スローガンは「ロータリーは人をつくる」と決めました。ロータリアン一人ひとりが自企業や地域の中で青少年の模範となり、尊敬される人物になれば、職業奉仕・社会奉仕を通じた新世代の人々に対する身近な奉仕活動であり、ロータリーの更なるイメージアップにも繋がると確信しています。

新世代奉仕活動月間にあたって、この機会に個人レベルからクラブ、地区レベルまでの幅広い新世代育成の取組みについて、皆さんでもう一度考えていただくことを期待しています。





## インターアクト地区大会を終えて

地区インターアクト委員長  
齋木 憲久 (倉吉RC)



去る7月30日、31日の二日間にわたり、島根県出雲市の青少年の家(サン・レイク)でインターアクト地区大会が開催されました。今大会は「悠久の地から国際理解を深めよう」をテーマに参加17校からのインターアクターと顧問教師、提唱ロータリークラブメンバーで総勢150名が集まりました。

初日は、開会式、表彰式、記念公演と見学会があり、2日目は、研修報告、体験発表、班別会議とその発表会がありました。これらは、ホスト、コ・ホストIACの生徒さんを中心に進められ、きびきびとした対応が大変印象に残っております。

開会式では、出雲市長代理児玉進一総務部長と松江市長代理小川正幸副市長を来賓としてお迎えし、ご祝辞をいただきました。

記念講演では、宍道正年氏に「古代出雲の魅力」というテーマでご講演頂きました。特に島根県で出土した銅剣、銅鐸といった青銅器や出雲大社についての大変興味深いお話でした。このお話とその後の島根県立古代歴史博物館の見学や出雲大社の参拝を通して、参加者全員が「悠久の地」出雲、および島根県の歴史や文化への理解を、より深めることが出来たのではないかと思います。

IACの研修報告では、島根県の7校が中心となり、フィリピンのストリートチルドレンやスカベンジャを訪問し、ふれあい活動や支援活動について報告頂きました。「10年越しの思い実現」と研修報告書にありましたが、長年にわたり継続して活動に取り組まれたことに大変感銘を受けました。

体験発表では5校から、それぞれのIAC活動について発表頂きましたが、とても積極的に取り組まれており、また班別会議では、今大会の感想や各IAC活動状況について今後取り組みたいことなど、意見交換が活発に行われました。

インターアクターの皆さんには、今大会で学んだこと、経験したことなど、今後のIACの活動に是非とも活かしてもらいたいと思います。

最後になりますが、今大会のホスト校であります開星高等学校の皆さんや、ホストRCであります松江東RCの皆さんを始め、関係者の方々に大変お世話になりましたことを、心から御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きご理解とご支援をお願いして、主催者でありますIA地区委員会を代表しての大会報告とさせていただきます。





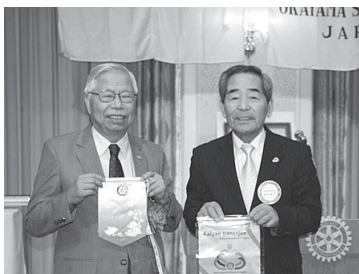
こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

## ガバナー公式訪問だより

7/8 金

### 岡山西南ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



伊藤ガバナー年度最初の公式訪問です。小林直前ガバナーをはじめ、エレクト時代の顔馴染みの方々の温かい歓迎をうけて、公式訪問をさせていただきました。

岡山クラブのスポンサーにより1969年4月に設立され、本年度で43年を迎えられるクラブです。現在会員数70名、廣田会長の下で会員の平均年齢が約58歳の活動的な意欲あふれるクラブでした。昨年度は、小林直前ガバナーの下で会員一致団結、2690地区の前進的な運営を進められました。

活動報告書を拝見しても、過去の実績、将来の計画、どこを拝見しても各委員会の委員長の方々が意欲的にクラブ活動に取り組んでおられるのが、ひしひしと伝わってきます。このクラブの活力の源泉はIDMを効果的に活用しておられるのではと推測しました。情報委員長（直前会長）がどのような集会にしたらよいかを研究しながら、楽しい中にも研鑽を積める集会に努力をされ、よき伝統を造って来られたようです。廣田会長の「小林ガバナーと共に全員が一丸となって2690地区の行事を遂行してきました。得られた貴重な体験、知識はクラブに貴重な財産になりました。もう一度原点に戻り、変えるべきことは何かを模索し、変革を成し遂げたい」との言葉を聞きながら岡山西南クラブの素晴らしさを改めて感じたクラブ訪問でした。

て哀悼の意を表したいと思います。岡山西クラブは1961年3月に創立され、2011年3月に創立50周年を迎えられた伝統あるクラブです。インターアクト、ローターアクトを創設され、新世代活動に積極的に進められると共に、高粱RC、岡山城RCの設立、台湾のRCとの姉妹提携を持つなどロータリー活動に積極的なクラブです。米山功労者、R財団への理解もすすんでおり、社会奉仕活動も活発で、知的障害者への支援、高齢者委員会の活動など、新世代活動と共に、高齢者問題に積極的に取り組みをされているのに感銘しました。松本会長のテーマ“ロータリーは人をつくり・ロータリアンは奉仕から”はクラブの伝統のしからしめるところか、と考えながら辞去了。

7/11 月

### 岡山北西ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



藤岡会長をはじめ会員の方々の温かい出迎えを受けました。例会場は交通至便の地に位置する、ホテルグランヴィア岡山であり、私が昭和27年に初めて訪

れた岡山の地がこのように変貌するとはと、感ひとしおのものがありました。本年度で20周年を迎えられ、藤岡会長の創立以来の“親睦と絆で高める奉仕の心”をモットーに初心に立ち返り活動を展開する、との気持ちが会員の方々にみなぎっているクラブでした。

記念植樹、旭川の清掃といった環境問題への取り組みが連綿として継続しております。また特別養護老人ホームへの支援、青少年問題への取り組み等積極的に社会奉仕活動を展開しておられ、これからの20年に向けて大きく前進する熱意が感じられました。今年つくられた特筆すべきは、“ビジョン委員会”があり、運営規定を拝見すると、理事会の諮問機関として定義されて、役職メンバー、委嘱メンバーもあり、クラブ運営の方向を討論していく存在として大変参考になりました。

藤岡会長の“人は社会的存在である以上、絶えず己の人格、能力を高めながら社会貢献を果たしていくべきものである”の言葉に感銘を受けながら辞去了。

7/11 月

### 岡山西ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



松本会長をはじめ会員の方々の温かい出迎えを頂き和やかな雰囲気を感じました。松本会長に岡山駅前の記念事業の説明をうけながら、早世されたパストガ

バナー、藤原章夫様の優しい面影を思い出しました。改め



## ガバナー公式訪問だより

**7/12 火**

### 岡山南ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



中島会長、延原PGの温かく丁寧なお出迎えを受けました。2690地区の模範とする岡山南クラブは常に150名の会員を保持し国際奉仕活動、社会奉仕活動、

新世代奉仕活動等どれをとっても立派な業績を残してこられました。

訪問しての強烈な印象は、会員の親睦、相互理解が完全に果たされているのがひしひしと伝わってきたことでした。例会場の入り口で、テーブルで、会員が親しく談笑されている姿は、本当に楽しいものでした。一転例会が始まると、静寂のときが訪れ、きびきびとした例会が進行する、楽しくて厳粛、すばらしいの一言のみで、中島会長、延原幹事の“親睦と奉仕の綾なす織り”が見事結実しているのをみて感動しました。

延原PGに私もいろいろ適切な指導を受けてきましたが、会員選考委員会の重要性を認識すること、まずこれが第一歩であると教示されました。選考委員会の目標を拝見すると、なるほどとうなずくものばかりですが、実際に実行するにはクラブ会員の全員がしっかりとした人生観、倫理観を持っているのが前提条件であることがわかります。今年で55周年を迎えられますが、この間にしっかりとしたロータリークラブを育て上げられてこれたことが伝わってきました。きわめて奉仕と論理を大切にされているのを、深く感じました。

環境保全委員会、RCC特別委員会、高齢者特別委員会、国際奉仕委員会いずれの委員会も今後の日本社会を見据えた社会観に裏打ちされたものであり、深い見識を感じ取ることが出来ました。今後の更なる発展と、地区のリーダーとしての活躍を念じつつ辞去しました。

**7/12 火**

### 児島ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事

岡本会長、三宅幹事の温かい出迎えと、渡辺元RI理事にもおいで頂き、心のこもる歓待を受けました。現在の会員数29名、見識のある方々の集まりです。例会場のせとうち



児島ホテルは午前中の大雨も収まり、対岸の丸亀、高松をくっきりと遠望でき、墨絵のように広がる瀬戸の小島は一幅の絵のようでした。岡本会長は、今年

度目標を“会員間の信頼と親睦を深めながら、ロータリーを楽しんでいくこと”を目標にしておられました。地場産業の縫製関連産業が不振の中で、会員拡大として3名の増員を目標に精力的に動かれておられるのに感動しました。社会奉仕活動でもいろいろと多彩な活動を展開されておりますが、地域各団体と協力しながら清掃活動も進めておられ、「倉敷国際トライアスロン大会への参加は汗を流しての活動で会員が奉仕の喜びを感じていた」との報告をうけ共感しました。渡辺PGにはいろいろとロータリー活動について貴重なご示唆を頂き大変有意義な公式訪問でした。

**7/13 水**

### 岡山丸の内ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



森本会長以下会員の方々の温かい出迎えを受けました。会場は岡山駅前、ホテルグランヴィア岡山でした。1989年11月創設の若いクラブです。会員の

平均年齢は55歳で30歳代の会員5名、40歳代6名の活力のある、これからのクラブです。インターアクトも保持して新世代活動についても積極的です。創立時の会員数53名、現在会員数32名で、会長はクラブ財政に非常な危機感をお持ちでした。今年は10名の会員増強を目標にし“クラブ増強元年の年”として位置づけ、活動すると、決意を表明されておられました。他クラブにはない“留学生支援事業”を行ってこれましたが、財政上困難でしばらく休まねばと苦衷をのべておられました。

森本会長の決意が実り、新世代活動の新たな展開、海外からの学生が真から学業に励み、日本との相互理解と親善を深める留学生事業が捻りあるものになることを念じつつ辞去しました。



こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

## 特集 地区協議会プログラム

点 鐘	ガバナー・エレクト	伊藤 文利
開会の言葉	次期地区代表幹事	井戸垣 澈男
国歌・「奉仕の理想」 斉唱	ソングリーダー	明島 淳吾
ホストクラブ会長挨拶	倉吉RC会長	大田 佳典
ご来賓紹介	ガバナー・エレクト	伊藤 文利
ガバナー挨拶	ガバナー	小林 完治
次期地区研修リーダー挨拶	次期地区研修リーダー	鳥居 滋
地区代表幹事報告	地区代表幹事	前島 智征
地区会計長報告	地区会計長	大内 皓雄
ガバナー・エレクト基調講演	ガバナー・エレクト	伊藤 文利



### 部門別協議

部 門	カウンセラー	リーダー	副リーダー
会 長	ガバナー 小林 完治	ガバナー・エレクト 伊藤 文利	ガバナー・ノミニー 森田昭一郎
幹 事	パスト・ガバナー 延原 正	次期地区代表幹事 井戸垣 澈男	次々期地区代表幹事 井上 峰一
ク ラ ブ 奉 仕	直前ガバナー 葛尾 信弘	次期ガバナー補佐 谷口 譲二	次期ガバナー補佐 酒井 英
職 業 奉 仕	パスト・ガバナー 渡辺 好政	次期ガバナー補佐 物部宏太郎	次期ガバナー補佐 那須 康弘、須山 羚治
社 会 奉 仕	パスト・ガバナー 森 嵩正	次期ガバナー補佐 宮尾 俊行	次期ガバナー補佐 道明 道弘
国 際 奉 仕	パスト・ガバナー 橋本 譲	次期ガバナー補佐 脇 利幸	次期ガバナー補佐 小林 眞一
ロータリー財団	パスト・ガバナー 鳥居 滋	次期ガバナー補佐 大塚 雅司	次期ガバナー補佐 井上 元

2009-2010年度ロータリー財団認証バナー贈呈 直前ガバナー 葛尾 信弘  
1人当たり寄付額上位3クラブ:

①岡山西南 (\$509.95) ②倉敷南 (\$382.96) ③松江東 (\$355.43)

「毎年あなたも100ドルを」:

松江しんじ湖, 出雲南, 井原, 備前, 岡山中央, 岡山南, 牛窓, 岡山西南  
100%「財団の友」会員:

松江しんじ湖, 出雲南, 井原, 備前, 岡山中央, 岡山南, 牛窓

「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」感謝状:

倉敷南, 岡山西南



ガバナー・ノミニー紹介	ガバナー・エレクト	伊藤 文利
2010-2011年度ガバナー・ノミニー挨拶	ガバナー・ノミニー	森田昭一郎
次期地区代表幹事挨拶	次期地区代表幹事	井戸垣 澈男
次期地区会計長挨拶	次期地区会計長	豊田 勲

### 部門別協議会報告

会長部門	ガバナー・エレクト	伊藤 文利
幹事部門	次期地区代表幹事	井戸垣 澈男
クラブ奉仕部門	次期ガバナー補佐	酒井 英
職業奉仕部門	次期ガバナー補佐	須山 羚治
社会奉仕部門	次期ガバナー補佐	道明 道弘
国際奉仕部門	次期ガバナー補佐	小林 眞一
ロータリー財団部門	次期ガバナー補佐	井上 元
ガバナー所感	ガバナー	小林 完治
謝 辞	ガバナー・エレクト	伊藤 文利
2011-2012年度 地区大会について	次期地区大会実行委員長	岡本 博文
閉会の言葉	倉吉RC次期会長	山田 悌次
点 鐘	ガバナー・エレクト	伊藤 文利



## 地区協議会の開催にあたって

国際ロータリー第2690 地区 2011-2012 年度ガバナー

### 伊藤 文利

今年の7月より、私は当地区ガバナーに就任します。そして皆さんは各クラブにおいて指導的立場に就任される方々ばかりであります。私はさる1月サンディエゴでの国際協議会で学んだ事を、本日皆さんにお伝えすることにより、皆さんを鼓舞激励し各クラブの発展、ひいては地区発展に繋がりたいと考えています。皆さんは本日学ばれた数々の内容をこれから1年間、各クラブの活動と運営に活かしていただく事を切にお願い致します。

さて、地区協議会の目的は皆さんの様なクラブ中枢部門の指導者達が、ご自身のクラブ会員にやる気を起こさせ、更なる能力育成を図る勉強会であります。

具体的に言うと

- ・会員基盤の強化と増強に努める
- ・地区内外への地域社会奉仕活動を成功させる
- ・会員のプログラム参加と資金推進を通じて  
ロータリー財団を支援する
- ・ロータリーの知名度を高め、公共イメージを広める

このようなことに役立つ情報や知識を、この研修会で学んでいただければ幸いです。

ロータリーの基盤は、全てのクラブ各々が持つ「自治能力」とその「活性化・地域貢献力」の発揮如何によって、地区もRIも大きく左右される事は皆様もよくご存じの事であります。

そんなわけで、クラブ運営の各部門リーダーとしての手腕を発揮される皆様には、重大な責任が課せられる1年間であり、同時に私にもクラブ育成という大きな責務が生じるのであります。

さて、国際協議会席上で次期RI会長のカルヤン・バネルジー氏は、次年度会長テーマとして「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために (Reach within to Embrace Humanity)」を発表されました。さすがに、インド出身の彼のテーマは難解です、複雑です。インド哲学とかインドの生活習慣・文化を理解しないと、このテーマ

の真意は伝わらないかもしれませんが、ガンジー、マザー・テレサの二人をしばしば例に出されていた点を考慮に入れて、よくよく「バネルジー氏のメッセージ」を読んでもれば、ロータリアンの我々には非常に深く示唆に富んだ内容であることが判ります。即ち、ロータリーは世界平和に貢献しなければならない。その為にロータリアンに必要な仕事は、第1に「家族愛を強固に築く」、第2は「良い奉仕活動は継続する」、第3は「変化には敏感に反応し、変えるべきものは変えなければならない」と彼は力強く喝破しています。

一方、私の地区スローガンは「ロータリーは人をつくる」とし、そしてロゴマークは童安寺の蹲（つくばい）に見られる「吾唯足知」をデザインしたもので、「人間の欲を戒め、足るを知って、慎み深く生きる」ことを教えています。私はロータリー活動の最も根底にあるものは「人づくり」だと考えています。バネルジー氏のいう「家族愛」を含め、根底にあるものは全て「人」です。従って、我々自身を含む地域や職場の大人たち、未来ある子供たちに、私たちロータリアンが「吾唯足知」の心をもって模範を示すとともに、一緒になって「人づくり」に精を出していただきたい、その様な機会を提供したいと思っています。各部門の討議テーマにも全て特に重点を置きたい「青少年育成」と「東日本大震災」に関する項目を掲げていますので、十分にご議論していただければ望外の喜びであります。

サー、皆さん、地区とクラブは一緒になり、汗をかきながら、色々な奉仕活動を実施いたしましょう。

終わりにあたり、皆さん一人ひとりの今年1年が充実した素晴らしいロータリー年度になりますようご祈念いたします。





こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

## 特集 地区協議会プログラム 部門別協議会報告

### 会長部門

#### ◎会長部門の協議事項

- 1) 地区資金予算(案)について
- 2) 地区目標について
- 3) 会員増強・会員維持への取り組み
- 4) RI会長賞プログラム・チェンジメーカー賞について
- 5) 地区組織について
- 6) 地区大会について
- 7) 職業研修チーム (VTT)
  - 6つの重点分野の1つ「健常児を含む障害者(児)への基礎的  
教育と識字率向上」
- 8) 日韓と日台両国の親善の推進
- 9) 意見発表
  - ・地区の次世代を担う青少年育成と彼らを指導する人材育成に  
ついて
  - ・この度の東日本大震災について我々は何ができるか

カウンセラー	リーダー	サブリーダー
小林 完治	伊藤 文利	森田昭一郎

先に、地区資金予算案の協議が行われ、全員一致で承認された。内訳につき、伊藤リーダーから「会員数の算出基準を3100名としたこと、特別会計のポリオ・プラス協力金(3年計画)が終わり、一般会計へ充当したい」との説明があった。

又、地区目標では「各クラブ2名以上純増を目標とするCLP、DLPと共に、本年は新世代活動に重点をおく。地区大会ではアジア色を出し“アジアは一つ”をテーマとしたい。職業研修チーム(VTT)では障害者の介護者研修をしたい。」との報告があった。

青少年育成については、留学生の支援、各種スポーツ大会、文化事業等の意見発表があった。続いて、東日本大震災につきガバナー事務所の素早い初動のおかげで、各クラブの基金の取り崩し、周年事業からの支出、海外の姉妹クラブからの支援への対応、駅前での街頭募金と多くの支援が出来、中長期支援の予定もたったとの発表があった。

#### 【講評】 小林 完治 カウンセラー

カルヤン・パネルジー氏は「ロータリーに何が求められているのか、我々ロータリアンは常に考えている必要がある」とおっしゃっています。街頭募金などで汗を流すこと等、「自分が変わらなければ相手も変わらない」ことを自覚して、原発の事故によるエネルギー問題等、難解な諸問題を抱えながら、自分のクラブらしい汗のかき方を探してください。この際、「日本人として生きる価値」をロータリアンとして再考してほしいとのご指導をいただきました。

(文責・奥野寛應)



### 幹事部門

#### ◎幹事部門の協議事項

- 1) 地区資金予算(案)について
- 2) 「クラブ活動・運営計画書」作成について
- 3) 地区大会について
- 4) RI会長賞プログラム・チェンジメーカー賞について
- 5) 地区目標について
  - (1) 会員増強の取り組みについて
  - (2) ロータリーカードの取り組みについて

カウンセラー	リーダー	サブリーダー
延原 正	井戸垣 徹男	井上 峰一

上記5項目の説明の後、会員増強に実績を残された倉敷南RC、出雲中央RC、笠岡東RC、松江RC、鳥取RCからそれぞれのクラブの特徴ある取り組み状況について意見発表と報告をいただいた。この後、ロータリーカードについて、全員から各クラブの状況報告が行われ、最後に協議内容全般と「幹事の心得」について、延原

正カウンセラーから講評をいただいた。

#### 【講評】 延原 正 カウンセラー

<会員増強について>

・ロータリアンは毎年一つずつ年をとる。必然的に永年の間に会員が去ってしまう。その後をどうするかが問題。先ずロータリーは「増強」というが、「補強」という概念が必要。そして、良い人材を探して引っ張って行くことが大切になる。私は、会長時代、思い切って若い世代の勧誘をした。

・会員増強委員長が頑張るのではなく、会長、幹事が率先垂範しなければいけない。

<ロータリーカードについて>

公式訪問の際、「お金の要らない奉仕だから」と各会長、幹事をお願いしたが、皆快諾されたものの、その後の反応は芳しくなかった。加入していただければ0.3%は財団に入り大きな財源となる。2690地区の加入率は日本のトップであり、岡山南RCは全国でトップ。現在の加入状況は5,000人を超えたが10,000人には程遠い。



# 特集 地区協議会プログラム 部門別協議会報告

先ず会長、幹事に持っていただきたい。何か一つ全国に負けないものがあるとすればロータリーカードが一番。

<幹事の心得について>

- ・幹事は、火曜日例会であれば毎週月曜日に事務局に連絡を入れる。郵便物の確認や会長への連絡事項、ガバナー事務所からの文書対応などが基本で一番大切なこと。会長と幹事は兄弟のような間柄にならなくてはいけない。
- ・3年に1回改訂となる「手続き要覧」をしっかりと読むこと。読めば何をしなければならぬかがよく分かる。
- ・ロータリーの命は例会。60分間をいかに上手に使うかがポイント。例会は、始めから終わりまで幹事が管理する。また例会で何が大切かといえば、何が起きようとも「時間を守る」こと。言いにくい相手でも幹事が時間厳守を指摘することが必要。
- ・最後に、幹事を経験しない会長を見かけるが、横で見ていてハラ

ハラする。幹事の経験は必要であり大切だ。「頑張っていたきたい」と激励された。

(文責・山崎一彰)



## クラブ奉仕部門

### ●クラブ奉仕部門の協議事項

- 1) 地域の次の世代を担う青少年育成と彼らを指導する人材の育成
- 2) この度の東日本大震災について我々は何ができるか

カウンセラー	リーダー	サブリーダー
葛尾 信弘	谷口 譲二	酒井 英

協議に先立ち、谷口リーダーから「各クラブにはクラブ奉仕部門のほかに各種奉仕部門がありますが、私は、クラブ奉仕部門は他の部門とは異なる点があると考えています。それは、クラブ奉仕部門は、クラブの内部に対する働きかけが活動の中心ですが、他の奉仕部門はクラブの外への働きかけが求められているという点であります。

①のテーマについては、クラブ奉仕という観点からの議論をお願いしたいと思います。特に、「彼らを指導する人材」とは“ロータリアン”を指している前提での議論をお願いいたします。②のテーマについては、「我々は・・・」＝“ロータリアン”として“ロータリーの会員”に対して何が出来るかも協議いただきたいと思います。」とのプレゼンがあり、その後、テーブルごとにテーマについて協議が行われました。

①については、各クラブでの活動事例が紹介され、活動中での人材育成について意見が発表されましたが、会員が減少傾向にある中で、活動の負担が一部会員に偏る傾向にあることや、小規模クラブでの活動の困難性等について、各クラブの課題も併せて発表されました。

②については、当面は義援金による支援が中心になるとの発表が多くあったほか、「関連企業の要望を聞き、杉の間伐材で組み立てた棚を作成し、100～200個を贈った。」など具体的支援について発表がありました。また、これからの支援方針に関しては、「米山奨学金の活用」、「震災孤児のためのロータリー基金の創設」、「復興

ランチを名目に、3年間支援金を積み立てる」など、いずれにしても支援に当たっては被災地の実情把握が必要なこと、また、長期にわたる支援が必要なことなどが発表されました。

### 【講評】葛尾 信弘 カウンセラー

①について

私は「ロータリーは地域と共に」を基本と考えているので、活動は先ず地域にむける。たとえ小規模クラブで育成活動が困難でも複数クラブで地域の他の組織（行政、学校、公民館など）と連携してやれることもある。

青少年の各種スポーツ大会、弁論大会などを主催するなど取り組みがなされているが、一層知恵を絞るクラブや地域の特徴を生かし引き続き御尽力戴きたい。

②について

各テーブルからの発表があったように、当面は義援金を中心になると思う。基金の話も出ていたが、直ちにとはいえないと思う。松江東クラブでは、落語家を招き、チャリティー落語会を開催し支援している。参考にしていいただければと思います。

(文責・永岡健治)





こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

## 特集

# 地区協議会プログラム 部門別協議会報告

### 職業奉仕部門

#### ◎職業奉仕部門の協議事項

- 1) 地域の次の世代を担う青少年育成と彼らを指導する人材の育成について
- 2) この度の東北・関東大震災について我々は何ができるか

カウンセラー  
渡辺 好政

リーダー  
物部宏太郎

サブリーダー  
那須 康弘  
須山 矜治

#### Aテーブル 出雲RC: 渡辺 孝

- ① 青少年と一緒に活動し、指導・教育等をする。  
プールの水質改善、ホテル復活プロジェクト、出前講座、職業体験(教育委員会と協力)
- ② 寄付、被災者の受け入れ、周年事業の予算を寄付、長期的な支援。

#### Bテーブル 岡山東RC: 池田 博昭(代)

- ① 職場体験を通じ働き・生きることを考える。地域の組織と協力する。
- ② 短期・中期・長期の支援プランを考える。子供への教育。

#### Cテーブル 美作RC: 宮野 憲二

- ① 出前講座を行う。小・中・高生とのパネルディスカッション(新しい発見がある)。ニートについて(国の予算を使う)。
- ② 被災者の孤児への支援を考える。チャリティー落語会

#### Dテーブル 岡山城RC: 高井 初子

- ① ローターアクト、インターアクトたちとバザーを行い、椅子を贈る。  
身近な人を育てる。教育、社長以外。行動で示す。  
日本の伝統を守る。新世代委員会と協力。
- ② 昼食代を節約、疎開者への就職支援。

#### Eテーブル 岡山旭川RC: 西村 篤志

- ① インターアクト、例会へ職業理解、出前講座、RYLAの活動。ス

ポーツを通じてローターアクトの復活、事業の活性化

- ② 義援金、危機管理の徹底、被災者の受け入れ体制諸外国ロータリーより義援金、補助金の申請

#### Gテーブル 赤磐RC: 戸川 和正

- ① 助成金の申請、スポーツへの協力、道徳観念を教える。
- ② ボランティアよりまず義援金・職業倫理を守り粛々とやる。恒常的な支援、消費税アップ?!

#### Hテーブル 倉敷水島RC: 入江 幸一(代)

カンボジアとの交流の話

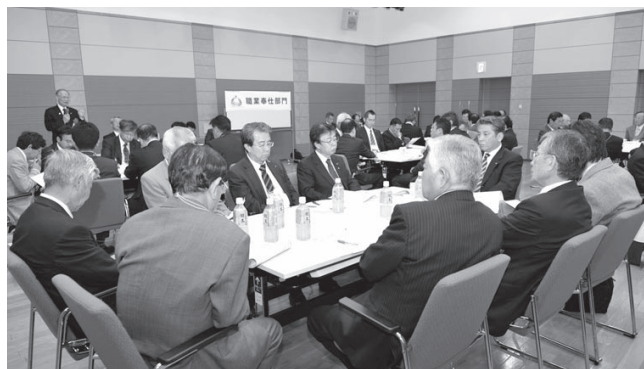
- ① ローターアクトの協力を…町の活性化、スポーツ、若い人材を育成。
- ② 長い支援が職業奉仕へつながる。長いスパンで組織化する。

#### 【講評】 渡辺 好政 カウンセラー

素晴らしいディスカッションであった。

私は、第3480地区へ会長代理として出席したとき、台湾のロータリアンより東日本大震災に対してお見舞いの言葉と多額の義援金を頂いたことに感謝している。中・長期の支援体制を考える。

(文責・羽合浩次)



### 社会奉仕部門

- 1) 地域の次の世代を担う青少年育成と彼らを指導する人材の育成について
- 2) この度の東日本大震災について我々は何ができるか

カウンセラー  
森 嵩正

リーダー  
宮尾 俊行

サブリーダー  
道明 道弘

各クラブ67名の参加者が8つのテーブルに分かれ、テーブルごとに社会奉仕という視点から2つの課題について議論し、発表を行いました。

課題① スポーツ、地域清掃、自然環境への関わりなど世代間の



# 特集 地区協議会プログラム 部門別協議会報告

つながりをつくる、あるいは若者のために学校で教えられないことをロータリーで指導することなど、社会奉仕として望ましい事業の事例が発表され、取り組みの重要性を共有しました。

**課題②** 各地で取り組まれた義援金の募金活動から今後どのように要望に対応すべきかという次への行動の模索、中長期的な活動につなげるための震災復興ランチをクラブの例会で実施し、一部を寄付に充てるというアイデア、被災地産品購買活動、国内での情報共有、新エネルギーなどへの関わりなどさまざまな角度からの活発な意見が発表されました。

## 【講評】 森 嵩正 カウンセラー

新年度のRIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」そして地区スローガン「ロータリーは人をつくる」からも青少年育成や災害への心構えをとらえていきましょう。

(文責・馬野慎一郎)

## 国際奉仕部門

### ◎国際奉仕部門の協議事項

- 1) 地域の次の世代を担う青少年育成と彼らを指導する人材の育成について
- 2) この度の東北・関東大震災について我々は何ができるか

カウンセラー	リーダー	サブリーダー
橋本 謙	脇 利幸	小林 眞一

テーブル毎の発表の中で、冒頭に普段の国際奉仕活動全体での成功例や、中には失敗例等の多くの話が出ていました。

各テーマでのディスカッション内容発表では、

#### テーマ①

- ・スポーツ（野球、サッカー等）、文科系（英語スピーチコン、ロボットコン）を通して支援、協力、主催を継続的に行っているとの実例が多くあり、成果としてスタンドを埋め尽くす程の集客ができたこと、又支援を長く継続している故に、生徒が指導者として戻ってきてくれる流れができてきた等の発表もありました。
- ・留学生を積極的に招くことで、日本の文化を勉強してもらおうと共に、母国の文化も勉強させてもらう等、教師や保護者も巻き込んだ、地域全体での留学生の受入れは、指導する人への国際感覚をも身につけてもらうことができる等の話もありました。
- ・問題点として、海外から資格取得の為に来日している方もあり、それを受けるロータリアンも、言葉の壁を乗り越える工夫が必要であるという意見がありました。

#### テーマ②

- ・義援金を出すことが何といても一番ではないかという意見が最も多く、尚且つ短期的ではなく長期的な支援の方法を、現地のロータリアンとコンタクトをとりながら検討していく必要があるのでは、等の意見も出ていました。
- ・支援するに当たって、必要なタイミングで必要な物を送ることが重要で、場合によっては集まり過ぎている物もあるので注意が必要とのコメントもありました。

- ・行き過ぎた自粛をせず、我々の職業を通して日本自体を元気にし、風評被害等を無くしていく努力が一番重要ではないか…との意見もありました。

## 【講評】 橋本 謙 カウンセラー

イタリアのナポリRCより、5年前にたった一人倉敷から行った留学生を頼りに震災から3日後のまだ日も浅いうちに、非常に高額（最終的には10万ドル）をしたいとの申し出があった。非常に素晴らしいロータリー的な美談であり、国際奉仕の身近な一面としての紹介と併せてまとめて頂きました。

(文責・水谷哲章)







こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

## 特集 地区協議会プログラム 部門別協議会報告

### ロータリー財団部門

#### ●ロータリー財団部門の協議事項

1) 地域の次の世代を担う青少年育成と彼らを指導する人材の育成について

- ・会員から無理のない資金推進(寄付)をしてもらうには
- ・新地区補助金を活用して地域ニーズ・青少年ニーズに答える為には

2) この度の東日本大震災について我々は何が出来るのか

- ・支援の議論
- ・原発を含めたエネルギー問題

カウンセラー	リーダー	サブリーダー
鳥居 滋	大塚 雅司	井上 元

会議冒頭に小林健治SAA・次期新地区補助金委員長より、この地区協議会はロータリー財団の部門別協議会であると同時に、小林ガバナー年度の4回目(最終回)の新地区補助金管理セミナーとしても位置づける旨の発言がありました。

①「無理のない寄付を頂くには人間関係が大切である」、「RA、IAで頑張っているクラブが多い」他に、「エイズの関係」や「サッカー」、「グリーンカーテン」、「清掃活動」、「ロボットコンテスト」、「海外留学の支援」、「海外への留学生の支援」、「環境保全」、「虐待防止」、「新地区補助金を活かしたスナッグゴルフ支援」を行っている等の紹介がありました。また新地区補助金を震災孤児に役立てられないか、といった意見が紹介されました。

②「小額でも長期的な支援が必要だろう」、「効率よく物資を支援するために被災地のRCから必要な物資を教えてもらう」、「基金を積み立ててはどうか」、「周年事業を縮小して義援金にしているクラブもある」、「震災孤児に対する長期的な支援が必要」、「震災孤児支援の窓口を次年度も継続して欲しい」、「多少の我慢はしてもいっそうの省エネへの取組みが必要だろう」、「原発云々の議論はまだ時期が早い」、「代替エネルギーを考える機会」、「義援金競争を反省」、「義援金と支援金を使い分けたい」といった意見が上がりました。

#### 【講評】鳥居 滋 カウンセラー

新地区補助金の上手な申請方法、事業終了後の書類保管についてのアドバイス、義援金の対応方針について紹介を頂きました。

(文責・明島淳吾)



## 事務局職員研修記

伊藤文利ガバナー・エレクトの方針の一つである「心のこもったおもてなし」でお迎えするため、倉吉の「歴史と食」をテーマに事務局職員研修会を実施した。

午前11時、43名の出席者と地区協議会会場「倉吉未来中心」をバスで出発、国登録有形文化財「豊田家住宅(オーナーは次期地区会計長)」に向かった。まず、「豊田家住宅」を見学、その後、次期豊田会計長より伊藤ガバナー・エレクトから事務局の皆様へ期待するメッセージが伝えられ、次年度の事務、会計処理についての説明があった。

次いで、倉吉歴史講談「淀屋の光と影」で、倉吉の歴史の一端を学び、ボランティアガイド3名の案内で、伝統的建造物群保存地区の町並み散策に出発。豪商「倉吉淀屋」の建物、淀屋ゆかりの「大蓮寺」、倉吉のシンボル「玉川と白壁土蔵群」、倉吉の伝統工芸「倉吉餅工芸館」など、倉吉の歴史を実際に体感。昼食は、「清水庵」で名物「餅じゃぶ」。とち餅、草餅など様々な餅をじゃぶじゃぶで味わっていただいた。

午後は、三朝町「三徳山三仏寺への参拝」。日本一危険な国宝「投入堂」を遙拝し、深い杉木立に囲まれた三仏寺本堂を参拝。

木々の芽吹き、満開の三徳桜の美しい「皆成院」で清水成真住職(倉吉RC)の講話。三徳山の1300年の歴史、世界遺産登録への取り組みなどを学んだ後、三徳山特製「三徳とうふ」「とち餅」の素朴な味を堪能いただいた。

予定の午後5時、地区協議会が終了し、会員が待つ「未来中心」に帰着。10月23日地区大会での再会を約し「歴史と食」の研修は無事終了した。

(H23.06.15記) (文責・高田久之助)



## 第1回諮問委員会報告

日時：2011年7月9日（土）午後13時～15時  
場所：岡山プラザホテル 3F 鶴見の間

### 《協議事項》

#### 1. 地区ビジョン委員会報告

- 1.1 地区ビジョン委員会要領と当面の課題
- 1.2 地区版WCS（仮称）と責任者（委員長）について
- 1.3 ガバナー事務所の固定化の概要

#### 2. 米山記念奨学会（評議員）について

3. R財団功労者表彰（案）について
4. 会員増強・R財団合同セミナー（案）について
5. 地区大会について
6. 地区大会の各種委員（案）について
7. 地区協議会を振り返って
8. 危機管理委員会について
9. 行事予定について
10. 地区ホームページ、ガバナー月信について
11. 青少年派遣交換学生の募集について

### 《報告事項》

#### [小林完治直前ガバナー事務所よりの報告事項]

1. 第2690地区2010-2011年度ロータリー財団基金収支報告
2. 東日本大震災におけるマッチング・グラントの取組みについて

#### [伊藤ガバナー事務所よりの報告事項]

1. 2011-2012年度第2690地区組織図（案）について
2. 原 久義PGの名誉会員（出雲RC）について

#### [森田ガバナー・エレクト事務所より報告事項]

1. 次期地区研修リーダーの選出について
2. 2012-2013年度第2690地区委員会組織図（案）について
3. ガバナー・エレクト事務所主催の行事予定表
4. 森田ガバナー・エレクト ホームページについて

## 2011-2012年度 国際ロータリー第2690地区 地区資金予算

### ◎収入の部

（金額単位：千円）

科目	2010-2011年度	2011-2012年度	摘要
前年度繰越金	0	0	
地区資金	33,000	35,650	11,500円×3,100名
雑収入	0	0	
合計	33,000	35,650	

### ◎支出の部

（金額単位：千円）

科目	2010-2011年度	2011-2012年度	摘要
PETS・地区協議会費	1,800	1,800	エレクト事務所へ送金
地区大会費	28,000	1,400	
国際協議会関係費	1,500	1,500	エレクト事務所へ送金
ガバナー連絡会	2,000	2,000	
ガバナー補佐経費	1,400	1,400	50,000円×11名、交通費実費
インターシティミーティング	1,100	1,100	100,000円×11グループ、会議費
各種委員会費	7,500	9,000	
事務所関係費 ガバナー事務所補助費	12,500	14,500	
ガバナー・エレクト事務所補助費	2,000	2,000	エレクト事務所へ送金
予備費	400	950	
合計	33,000	35,650	

### ◎特別会計収入（年間）

科目	2010-2011年度			2011-2012年度			摘要
	一人当（円）	会員数（名）	収入金額（千円）	一人当（円）	会員数（名）	収入金額（千円）	
日本ロータリー連絡委員会分担金	500	3,300	1,650	500	3,100	1,550	
国際青少年交換資金	1,600	3,300	5,280	1,600	3,100	4,960	
新世代活動資金	1,800	3,300	5,940	2,000	3,100	6,200	
世界社会奉仕資金	1,000	3,300	3,300	1,000	3,100	3,100	
職業研修チーム資金	1,500	3,300	4,950	1,000	3,100	3,100	
ガバナー月信購読料	1,500	3,166	4,749	1,800	3,100	5,580	
地区大会分担金	5,000	3,300	16,500	5,000	3,100	15,500	
規定審議会出席積立金	100	3,300	330	100	3,100	310	
ポリオ・プラス協力金	1,500	3,300	4,950				
地区R財団事務所資金	1,300	3,300	4,290	1,300	3,100	4,030	
合計	15,800		51,939	14,300		44,330	





こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

# 【 地区だより (2011年7月) 】

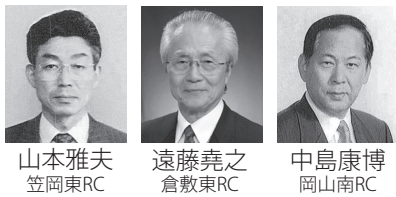
(敬称略)

## 新会員ご紹介



## ロータリー財団への寄付

### ベネファクター

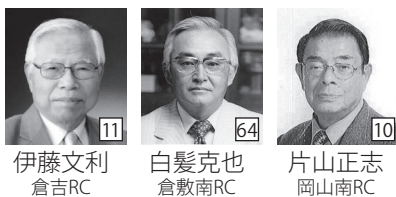


### ポール・ハリス・フェロー



## 米山記念奨学会への寄付

### 米山功労者メジャードナー



### 米山功労者



## 訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



赤松 光 会員 (倉敷RC)

2011年7月26日ご逝去 (享年81歳)  
1967年7月13日入会  
医療法人 至誠会 赤松病院 院長  
産婦人科  
各種委員会委員を歴任  
P.H.F. 第3回米山功労者



# 【 地区だより(2011年7月) 】

(敬称略)

## ロータリー財団への寄付

### メモリアル・コントリビューションへの寄付

岡山南RC 小川雅庸が、故父 福武(小川)健二のために  
新内芳之が、故父 新内康久のために

### ロータリー東日本震災復興基金への寄付

児島RC.....	60.98ドル	倉敷東RC.....	36.59ドル (市内チャリティゴルフコンペ)
児島東RC.....	48.78ドル	倉敷瀬戸内RC.....	97.00ドル

### クラブ特別寄付(年次寄付)

倉吉RC.....	55.00ドル	新見RC.....	560.00ドル
倉吉中央RC.....	23.00ドル	玉島RC.....	720.00ドル
浜田RC.....	110.00ドル	倉敷南RC.....	66.00ドル (2ドル寄付前期分)
笠岡東RC.....	263.41ドル (ミリオンダラーミール)		768.00ドル (ロータリアン誌寄付前期分)
	121.95ドル (ゴルフ同好会より)	岡山RC.....	315.00ドル (会員3ドル寄付)
		岡山西南RC.....	86.00ドル (新入会員寄付他)

### 年次寄付にご寄付いただいた方々

岡山西南RC.....安達 學、秋山裕一、浅野敏美、中地 喬、藤原真人、福島孝彦、伏見 正、蜂谷俊夫、春日明俊、林 保幸、平井一郎、廣田康孝、本徳智英、堀登誌貴、堀 敬夫、出原吉人、井村 誠、井上 勲、勝目秀幸、河合智哉、河合 進、桔梗博充、小橋祐治、小林完治、小林和義、小林孝一郎、古南倫子、近藤和二、小山敏章、黒岩晃一、楠本俊憲、前島皎仁、前島智征、松井泰之、松倉英生、松下典裕、本山康代、森 英文、村上伯夫、仲村 巧、岡本匡史、岡永 正、小野 稔、大西哲夫、太田英利、大内皓雄、尾坂 功、坂本久男、坂本裕平、佐藤弘一、佐藤能之、柴田正剛、椎原裕二、末吉周平、角南義文、田口一子、竹下俊彦、田中英樹、内山一三、上田泰輔、和田治郎、弥久末 務、安永幸賢、油谷直幸

## 米山記念奨学会への寄付

### クラブ特別寄付

出雲RC.....	18,400円 (米山ランチ)	笠岡東RC.....	10,000円 (ゴルフ同好会より)
笠岡RC.....	28,305円 (米山ランチ)		

### クラブ普通寄付

智頭RC.....	22,000円	江津RC.....	65,000円	児島RC.....	70,000円	岡山旭川RC.....	125,000円
倉吉中央RC.....	23,000円	浜田RC.....	130,000円	児島東RC.....	57,500円	岡山中央RC.....	225,000円
鳥取中央RC.....	82,000円	益田RC.....	120,000円	倉敷RC.....	192,500円	岡山北RC.....	112,500円
鳥取西RC.....	132,500円	益田西RC.....	155,000円	倉敷中央RC.....	45,000円	岡山南RC.....	453,000円
境港RC.....	84,000円	大田RC.....	52,000円	倉敷南RC.....	264,000円	玉野RC.....	80,000円
米子RC.....	155,000円	井原RC.....	92,000円	倉敷水島RC.....	93,000円	牛窓RC.....	21,000円
松江RC.....	170,000円	笠岡RC.....	150,000円	美作RC.....	70,000円	岡山備南RC.....	87,500円
松江東RC.....	142,500円	笠岡東RC.....	126,000円	津山西RC.....	85,000円	岡山城RC.....	81,000円
松江南RC.....	170,000円	新見RC.....	48,000円	岡山RC.....	262,500円	岡山岡南RC.....	75,000円
松江しんじ湖RC.....	157,500円	総社RC.....	92,500円	岡山東RC.....	255,000円	岡山丸の内RC.....	64,000円
出雲RC.....	115,000円	総社吉備路RC.....	87,500円	岡山北西RC.....	98,000円	岡山西RC.....	182,500円
出雲南RC.....	295,000円	玉島RC.....	75,000円	岡山後楽園RC.....	127,500円	岡山西南RC.....	160,000円

### 特別寄付をいただいた方々

岡山岡南RC.....荒嶋 望、秀岡康則、入江祥子、中村有作

### 特別寄付をいただいた法人

松江南RC.....	第一生命保険(株)松江支社	10,000円	笠岡東RC.....	(株)わたる石材工業H.D	500,000円
------------	---------------	---------	------------	---------------	----------

表紙・長谷寺絵馬 川中島合戦の図 明治39(1906)年、縦94.5cm横134.3cm

川中島合戦は、甲斐の武田信玄と越後の上杉謙信が、信濃国川中島で激突した戦いで、浄瑠璃や歌舞伎にも脚色されています。

永禄4(1561)年9月10日の対戦では信玄と謙信の一騎打ちがあったとされます。この絵馬は、謙信が騎乗から太刀を振り下ろし、信玄

が軍配に受けるという名場面を、鮮やかな色彩で描いた武者絵です。

願主は今井佐五郎で、作者は不明ですが、絵馬としてはかなりの筆力です。

# 出席報告 (2011年7月)

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数				クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数					
				7月1日	7月末	内女性 会 員	増減					7月1日	7月末	内女性 会 員	増減		
第1グループ	智 頭	75.00	68.75	4	11	12	1	1	児 島	83.82	73.00	4	28	29	0	1	
	倉 吉	93.66	77.38	4	55	57	3	2	児 島 東	98.55	94.20	3	23	23	0	0	
	倉吉中央	84.79	61.96	4	23	23	1	0	倉 敷	99.65	84.84	4	77	76	9	-1	
	倉吉東	96.02	72.16	4	44	44	2	0	倉敷中央	90.74	87.04	3	18	18	3	0	
	鳥 取	100.00	80.12	4	53	53	2	0	倉敷東	92.50	85.83	3	40	41	3	0	
	鳥取中央	90.34	86.29	3	41	42	0	1	倉敷南	94.09	59.75	5	66	68	5	2	
	鳥取北	85.44	76.91	4	54	54	6	0	倉敷水島	86.49	79.56	4	31	31	0	0	
	鳥取西	89.99	81.45	5	53	54	0	1	倉敷瀬戸内	90.79	71.42	4	37	38	4	1	
計(8)	89.41	75.63		334	339	15	5	計(8)	92.08	79.46		320	324	24	3		
第2グループ	境 港	77.98	65.48	4	42	42	0	0	第8グループ	真 庭	91.04	85.74	4	34	34	0	0
	米 子	86.35	64.18	5	62	62	2	0		美 作	91.50	91.50	4	35	35	1	0
	米子中央	82.58	69.70	4	33	33	1	0		津 山	87.67	65.91	5	88	88	3	0
	米子東	82.63	70.20	4	77	78	5	1		津山中央	82.00	81.00	4	26	26	2	0
	米子南	91.53	73.09	3	46	46	1	0		津山西	89.37	81.70	4	34	34	4	0
	計(5)	84.21	68.53		260	261	9	1		計(5)	88.32	81.17		217	217	10	0
第3グループ	松 江	88.13	77.40	4	68	68	0	0	第9グループ	赤 磐	78.87	75.05	3	20	20	0	0
	松江東	91.31	85.22	4	57	58	0	1		備 前	93.61	82.35	4	43	43	3	0
	松江南	89.30	86.25	3	68	68	4	0		岡 山	88.44	71.65	4	105	111	0	6
	松江しんじ湖	91.27	82.10	4	63	63	8	0		岡山東	94.54	89.25	4	85	86	0	1
	隠岐西郷	88.88	67.80	4	26	27	0	1		岡山北西	91.67	81.25	3	49	49	4	0
	計(5)	89.78	79.75		282	284	12	2		岡山後楽園	85.30	77.94	4	51	51	0	0
第4グループ	平 田	89.05	84.68	4	38	38	1	0	第10グループ	計(6)	88.74	79.58		353	360	7	7
	出 雲	81.25	75.00	3	48	48	1	0		岡山旭川	86.00	76.00	4	25	25	1	0
	出雲中央	84.44	76.98	3	50	50	3	0		岡山中央	90.74	80.99	5	45	45	5	0
	出雲南	96.95	82.25	5	59	59	6	0		岡山北	83.70	70.11	4	45	46	0	1
	大 社	80.88	75.74	4	42	42	0	0		岡山南	83.87	74.04	4	151	157	12	6
	計(5)	86.51	78.93		237	237	11	0		玉 野	88.13	82.50	5	32	32	0	0
第5グループ	江 津	78.85	74.04	4	26	26	0	0	第11グループ	牛 窓	85.71	85.71	3	7	7	0	0
	浜 田	86.09	79.32	4	52	55	1	3		計(6)	86.36	78.23		305	312	18	7
	益 田	94.79	81.25	4	24	24	2	0		岡山備南	80.93	76.92	4	35	35	4	0
	益田西	86.29	66.94	4	30	31	1	1		岡 山 城	100.00	90.74	4	27	27	4	0
	大 田	90.66	83.83	4	26	26	3	0		岡山岡南	91.67	88.02	4	30	30	3	0
	計(5)	87.34	77.08		158	162	7	4		岡山丸の内	84.78	76.79	4	32	32	3	0
第6グループ	井 原	83.88	69.50	4	46	46	2	0	地区 クラブ 内の 状況	岡山西	88.43	77.46	3	73	74	5	1
	笠 岡	91.15	83.39	4	50	51	0	1		岡山西南	86.75	76.61	5	64	66	3	2
	笠岡東	93.81	87.14	5	42	42	1	0		計(6)	88.76	81.09		261	264	22	3
	新 見	89.06	82.81	4	16	16	1	0		クラブ数	67RC						
	総 社	82.73	78.21	4	37	38	7	1		7月1日現在会員数	3,027名						
	総社吉備路	92.80	89.92	4	35	35	3	0		7月末日会員数	3,062名						
	高 梁	86.81	79.92	4	44	44	3	0		内 女性会員数	153名						
	玉 島	91.52	89.86	4	30	30	1	0		純増	34名						
計(8)	88.97	82.59		300	302	18	2	7月出席率	Make-up後	88.47%							
									ホームクラブ	78.54%							

国際ロータリー第2690地区  
2011-2012年度  
地区スローガン



国際ロータリー第2690地区 2011-2012年度 ガバナー  
**伊藤 文利**

〒682-0887 鳥取県倉吉市明治町 1037-11 倉吉商工会議所 3 階  
TEL 0858-24-2690 FAX 0858-24-2691  
E-mail : ito2690@shirt.ocn.ne.jp